

十年の歩み

The First Ten Years of KEK



創設十周年記念

文 部 省

高エネルギー物理学研究所

KEK



初代所長

諏訪 繁樹

昭和46年4月～昭和52年3月



現所長

西川 哲治

昭和52年4月～



研究所全景 (昭和56年6月撮影)

序にかえて

松林に囲まれた田園風景のなかに、筑波研究学園都市のパイオニアとして、また国立大学共同利用機関の第1号として、高エネルギー物理学研究所が生まれて10年になりました。創設当時は研究設備はもちろん、今日のような道路も住宅も商店も、病院や学校や警察や消防署などの公共施設も、ほとんど整備されていませんでした。森の中の旧ゴルフ・クラブの建物を仮庁舎に、研究所や加速器の青写真づくりをしていた頃が懐しく思い起こされます。

ご存知のように、高エネルギー物理学研究所は、全国のこの分野の研究者の多年の宿願をこめて創設されました。研究所の創設に至るまでには、さまざまな紆余曲折がありました。そして今日の姿にまで成長するためには、ほんとうに多くの方のお世話になりました。関連分野の研究者の方々はもちろん、学界の先輩や日本学術会議、文部省をはじめとする政府当局など、関係者の方々の心のこもった御支援にはほんとうに感謝をせざるをえません。また国会や地元をはじめとする社会一般から送られた暖い御声援も決して忘れることはできません。さらに、研究所の設備や施設の整備のためには、多数の企業の方々に並々ならぬ御協力をいただきました。

研究所創設十周年を迎え、これらの御支援や御協力に心から感謝するとともに、さまざまな御助言や御批判も厳しく受けとめ、しっかりとチームを組みながら、精一杯努力してきた、私たちの感慨も一しおであります。おかげをもちまして、陽子シンクロトロンは予定通り完成し、その性能は当初の目標を大きく上回り、昭和52年度からはじまった共同利用実験の成果も次々にあがりつつあります。ブースター利用施設や放射光実験施設など、本来の素粒子の研究以外の広い分野への応用的な研究も着々と軌道に乗りつつあります。そして本年度からは、創設当初からの夢であった世界第一級の加速器計画、トリスタン計画の建設がはじまりました。国際的にもKEKの愛称は世界中で通用するようになりました。

人類の科学技術、とくに基礎科学の中心のひとつである高エネルギー物理学の最近の進展は、まことに目ざましいものがあり、21世紀は原子の時代から素粒子の時代になるであろうともいわれています。このような学術文化の歴史の流れのなかで、わたくしたちに負わされた使命と責任は、また一だんと重くなるであろうと考えております。

これらすべてのことを胸裡にとめて、創設10周年を迎えたこの機会に、高エネルギー物理学研究所のこれまでの歩みをふりかえり、この十年の歩みをまとめることにいたしました。ついては研究所の創設に特に御関係の深かった方々から思い出を語る多くの御寄稿をいただきました。また資料の募集や整理にあたっては、編集委員会（委員長 高橋秀知助教）の方々をはじめ数々の御協力をえました。短時日に作成したため、あるいは不備なところや誤りもあるのではないかと危惧しておりますが、お気づきの点は卒直に御指摘をいただきたく存じます。そして、これを今後の研究所

の発展のための一里塚ともいたしたいと考えております。これからも一その御指導と御支援をお願いして御挨拶の言葉といたします。

昭和56年11月

高エネルギー物理学研究所長

西川哲治

目 次

序にかえて	西川哲治	
目 次		
1. 年 表 (写 真)		
2. 回 想		
2.1 高エネルギー物理学研究所が誕生するまで	伏見康治	34
2.2 創設当時を回想して	小谷正雄	36
2.3 高エネルギー物理学研究所の創設を回想して	渋谷敬三	37
2.4 創設当時を回顧して ー国立大学を引寄せたー	笠木三郎	39
2.5 創設当時を回想して	野村武一	41
2.6 素研準備室時代の思い出	武田 暁	42
2.7 前 史	北垣敏男	43
2.8 創設当時を回想して	山口嘉夫	45
2.9 創設当時を回想して	西村 純	46
2.10 昔 話	小林喜幸	48
2.11 創設当時を回想して	諏訪繁樹	50
2.12 創設当時の思い出	西川哲治	52
2.13 創設当時を回想して	安見真次郎	54
2.14 創設当時を回想して	三浦 功	56
2.15 創設当時を回想して	松澤美作	58
2.16 創設当時を回想して	重藤学二	60
2.17 素研準備室時代の物理・開発について	菊池 健	62
2.18 創設当時を回想して	尾崎 敏	64
2.19 フォトン・ファクトリー創設当時の思い出	高良和武	65
3. 現職員の思い出		
3.1 想 い 出	阿部昭二	67
3.2 LEBTのQ マグネットの焼損事故	石丸 肇	68
3.3 高エネルギー研創設の頃	遠藤有聲	69
3.4 研究所の歴史は人々の歴史	渋谷義和	70
3.5 素研から高エ研へ	高野 進	71
3.6 想 い 出	仲澤 宏	72
3.7 想 い 出	細山謙二	73

3.8	想 い 出	政 池 明	74
3.9	林の中の研究所	本 橋 せつ子	75
4. 座 談 会			
	創設当時に思いを馳せて	木 原 元 央, 高 橋 嘉 右 (司会), 滝 本 良 雄 長 島 順 清, 永 末 晴 成, 平 林 洋 美, 堀 越 源 一	76
5. 研 究 系 史			
5.1	加速器研究系史	亀 井 亨	96
5.2	物理研究系史	高 橋 嘉 右	102
5.3	共通研究系史	高 橋 秀 知	110
6. 未 来 に 向 け て			
6.1	放射光実験施設	富 家 和 雄	116
6.2	ブースター利用施設 -その生い立ち-	佐々木 寛	120
6.3	国際協力について	菊 池 健	122
6.4	トリスタン計画について	菊 池 健	124
7. 研 究 成 果			
7.1	陽子シンクロトロンによる実験とその成果	久寿米木 朝雄	126
7.2	理論部の成果	菅 原 寛 孝	157
7.3	超伝導電磁石の開発成果	平 林 洋 美	159
8. 資 料 編			
8.1	組織・定員		162
8.2	施設配置図		163
8.3	創設に関する主な勧告等		165
8.4	関係法規（国立学校設置法関係）		175
8.5	歴代評議員・運営協議員一覧		183
8.6	年度別予算と定員の推移		190
8.7	共同利用実験一覧		192
8.8	共同利用研究者数		195
8.9	外国人研究員等国別・年度別来所者数一覧		196
8.10	コロキウム年度別一覧		197
8.11	研究出版物リスト		203
8.12	雑誌等掲載論文		219
8.13	特許一覧		255
8.14	蔵書等の推移		255
8.15	主要施設一覧		256
8.16	契約電力と年度別使用電力量		259
8.17	現・旧職員名簿		260